

東っ子

たのしみが
ゆきわたる
東小学校

7月号

夏休みにこそ 継続した取組を

七月に入り、一学期末の授業参観・学級懇談会を行いました。保護者の皆様にはご出席いただきありがとうございました。

その折にお伝えしたとおり、七月十九日から八月二十七日まで夏休みです。全部で四十日間の休みです。この四十日をどう過ごすか、大きな課題です。

私の出身は市川大門町(現 市川美里町)の黒沢川沿いの小さな集落でした。夏休みには、近所の友達と川へ出かけて魚取りをしたり、すぐ裏の山の斜面のお墓に行くとかヌギの木があつて、カブトムシやクワガタ、ケキリなど虫取りをしたりしたものでした。

そんな遊んだことの思い出はいっぱいありますが、学校のことで頑張ったこともあり、よく覚えていません。その一つは、二年生の夏休みのことです。夏休みに入ったばかりの頃、近所に住む同級生の女の子がハルモニカを吹いているのを私

の母親が目になりました。母は家に帰るなり「○○ちゃん、ハルモニカが上手だよ。由久も練習して夏休み中に吹けるようにならんとだめだよ」と言われたので、当時母親の命令は絶対的でしたので毎日のように練習してようやく「きらきら星」がつかえずに吹けるようになったのでした。

ていたのを見た。先生は、そんな私を見て、しかし何も言わずに、引き上げてくれたのでした。

その年の夏休みに私は毎日のようにプールに通って泳ぎを練習したのでした。そして、まずはプールの横の距離(十三メートルぐらい)を目標にして、それができると次に縦の二十五メートルを目標にして、その年の夏休み中に縦を泳ぎ切ることができたのでした。

この夏休み、子どもたちにとつて、継続して取り組めるものになってほしいなと期待しています。

私は実はほぼ全く泳げなかったのですが、「少し泳げるときのきに手を挙げて、しまつたのでした。それで、少し泳げる人たちの順番がくるまで、困った困ったど

うしようと思つていて、いよいよ自分の番になってしまひ、もう今さら泳げませんとも言い出せずに、プールの中に飛び込んだのでした。そして水に潜り闇雲に手足を動かす、もがい

ていたのを見た。先生は、そんな私を見て、しかし何も言わずに、引き上げてくれたのでした。

読書教室

甲府市立図書館出張授業

夏休みを前に読書教室を開催しました。講師は、甲府市立図書館の職員の方々にお願ひしました。各クラス、一時間です。



低学年では、お手紙の本と関わって様々な形のハガキを見せてくれました。中学年では、蚤(ノミ)を取り上げた本を楽しく紹介して本題名を考えた選んだという活動が仕組まれてお礼として、六年生全員が感想を書いて渡しました。感想の抜粋を紹介します。

「ぼくは、あまり本は好きではありませんでした。でも、本の一冊にわかりました。本一冊は書いていると言ふことを学びました。」

「わたしは今まで物語を楽しんでいました。でもその本を読んだら、どう思ったかを考えると、よりその本を楽しめることがわかりました。今読んでいる本もそんなふう

に読みたいのです。」

「初めてブックトークを体験しました。戦争がテーマで『戦争で死んだ兵士のこ』が一番心に残りました。自分が大人になつてい

からだ健康まつり



においくんくん

保健委員会により「からだ健康まつり」が七月一日(十一日)に行われました。お店は全部で十三。

視力、動体視力、時間感覚、バランス、手の器用さ、記憶力、臭覚、聴力、触覚、身体の名刺、握力、腕相撲など、工夫されたお店がいっぱいで、大賑わいでした。

着衣泳…各学年で



方が一の水難事故に備えて、着衣泳を施しています。着衣泳は力。されど過信は禁物。安全対策に万全を。